

# 原宿タイムズ

HARAJUKUTIMES

Vol. 14

特集 新年度の挨拶

摂食嚥下センター

成瀬先生.紹介&入職式

スマイルコンテスト

ペットとふれ愛「もふもふコーナー」

医療連携会

専門性の高い看護実践者

歯科コラム



# 新年度のご挨拶 本年度もよろしくお願い致します。

## 原宿リハビリテーション病院長 四津 良平

すがすがしい風が、青葉若葉を揺らす季節となりました。  
今年の春は、令和という新しい時代を迎える特別な春です。  
日頃から原宿リハビリテーション病院に対しご支援を賜り感謝申し上げます。おかげさまで原宿リハビリテーション病院も開院してから4年を経過し、5年目を迎えようとしています。都心に在るアジアで最大のリハビリテーション専門病院(ベッド数332床)としてスタートして、全職員が一丸となって努力してまいりました。この4年間に当院に入院された患者様は5,500人です。優秀なスタッフのもとで当院退院後の自宅への退院率は90%を超えることができています。近隣には高度急性期・急性期に特化した複数の病院があります。また都心から離れた関東地域の急性期病院の先生方とも連携を一層深めて、これらの病院の先生方と信頼関係に基づいた顔の見える病院-病院連携を深めることで迅速な患者様に寄り添った対応を心がけています。患者様1人1人に合ったリハビリテーションを行っております。一昨年度から、かねてからご要望のありました訪問リハビリを開始しました。まだ利用できる地域には限定がありますが訪問リハビリ専門の優秀なスタッフで好評をいただいております。訪問リハビリの充実をより一層高めていく構えです。今後も地域社会に貢献し、皆様方に満足していただける質の高いリハビリテーション医療を提供するために職員一丸となって努力していく所存です。  
これからも引き続きご支援を賜りますようお願いを申し上げます。  
どうぞ本年度もよろしくお願い致します。



## 筆頭副院長 稲川 利光

新しい年度がスタートしました。  
今年度も多くの患者様が入院され、そして地域に帰って行かれます。  
患者様やそのご家族がより良い生活を取り戻されるために、私たちスタッフ1人1人の技術と優しさが大切です。  
チームとしての力を高め、地域になくならない病院としての使命を果たす…。私もその一員として、みなさんとともに進んでいけたらと願っています。



## 名誉院長 林 恭史

令和元年は原宿リハビリテーション病院設立後、5年目となる年です。  
設立後、年毎に医療、看護、リハビリ訓練の内容が充実しており、患者様から高い評価を戴いております。そのため、もし次回入院するなら原宿リハビリテーション病院への言葉通り、リピーターの入院患者様が増えており、病気の再発を喜ばないという複雑な心境の反面、再度の選択に喜ばしく思います。  
しかし、医療の進歩による脳卒中患者の減少・軽症化、同じ目的の他病院の増加、などにより回復期リハビリテーション病院を取り巻く状況は厳しくなっています。このことから、原宿リハビリテーション病院の職員の皆様方は令和元年も「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」の心を携えて、患者様の幸せを求めて励みましょう。



## 関東統括事務局長 兼 事務長 古野 尚

新元号「令和」幕開けの記念すべき年を迎えました。  
昨年度は、連携病院様はじめ各方面の皆様方に大変お世話になり心より感謝致します。  
我々がこの原宿の地で患者様1人1人に高度なリハビリ医療が提供できるのも、当院に関わっていただいているあらゆる方面の方々が支えていただいているからこそ成せることです。この感謝の気持ちを常に心にとめこれからも患者様、そのご家族、またスタッフの皆さんのたくさんの笑顔を作れるように奮励努力してまいります。  
本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 質の高い治療と口腔ケアを提供

当院では、リハビリテーション科指導医を有する医師と常勤歯科医師4名、言語聴覚士による摂食嚥下センターを開設致しました。院内の歯科診療室に加え、歯科ユニット、歯科用レントゲン機器も完備しておりますので、質の高い口腔ケアも提供させていただきます。



摂食嚥下センター長  
筆頭副委員長  
リハビリテーション科指導医  
稲川 利光 医師



摂食嚥下センター長  
歯科診療部長  
竹内 純 医師

## 「口から食べる」…… 機能低下の改善と予防

- 全顎が撮影可能なパントモグラフィー
- 舌の運動機能を測定する舌圧測定器
- 口唇、舌の巧緻性及び速度を計測するティアドコ測定器
- 口腔内の乾燥度を測定する口腔水分計
- 嚥下に必要な感覚刺激を行うジェントルスティム
- 嚥下に必要な筋肉へ刺激を与えるバイタルスティム

などの専門的機器を備え、客観的に診断を行っています。また、症例によっては、VE(嚥下内視鏡検査)VF(X線嚥下検査)も行える設備も有し、より高度な精密検査も可能となっております。



「オーラルフレイルの啓蒙」「口腔機能低下症」の診療に積極的に取り組んでおります。

「オーラルフレイル」とは滑舌の低下、わずかなむせ、食べこぼし、噛めない食品の増加など、「口腔に現れる虚弱」を意味しております。さらに「口腔乾燥」「噛む力の低下」「舌口唇の運動機能低下」「飲み込みの低下」「口腔不潔」など積極的な歯科治療の介入が必要な状態を「口腔機能低下症」と言います。

当院では、専用の機器を備え、更に専門的な知識を持って、この2つに積極的に取り組んでおります。



Dr  
ドクター

【専門】 心血管外科  
【経歴】 1981年 東京大学医学部卒  
1981年 東京大学医学部 第二外科  
1982年 自衛隊中央病院 外科  
1983年 都立墨東病院 外科  
1985年 東京大学医学部 胸部外科  
1987年 日本赤十字医療センター 心血管外科  
1988年 東京大学医学部 胸部外科  
1990年 虎の門病院循環器センター 外科  
1994年 虎の門病院循環器センター 外科医長  
2002年 虎の門病院循環器センター 外科部長  
2019年 一般社団法人 巨樹の会 原宿リハビリテーション病院

なる せ よし ひろ  
成瀬 好洋

本年4月1日よりお世話になります、成瀬好洋と申します。昭和56年3月に東京大学医学部を卒業、心血管外科を専門に本年3月31日の定年まで虎の門病院循環器センター外科部長を務めておりました。

この度、四津院長よりお誘いいただきましてスタッフの一員に加えて頂くことになりました。

長年心血管外科に従事しておりましたので、偏りがちだった他領域の知識を新たに取り入れつつ、回復期リハビリテーションの勉強をさせていただきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いたします。



## 入職式

平成31年4月1日、原宿リハビリテーション病院の入職式が行われました。

今年は医師、看護師やリハビリスタッフなど、全職種合わせて80名を超える入職となりました。これから全スタッフ一丸となって、患者様によりよいリハビリテーションを提供できる様、努めて参りたいと思います。

## スマイルコンテスト

2018年度スマイルコンテスト入賞者



**スマイルコンテスト**

当院の医師・看護師・リハビリスタッフ・社会福祉士・管理栄養士・薬剤師・医療事務から、患者様・家族様に対して、Hospitalityを提供している模範的な方を表彰し、さらに、今後のサービスの向上を目指すためにスマイルコンテストが行われました。

**受賞者コメント**

患者様・ご家族様や地域の事業所の方にも良い印象を与えられるように努めていきたいと思えます。

医療福祉総合相談室 鯨岡 慶子

## ペットとふれ愛「もふもふコーナー」





ペットとふれ合えるコーナーを院内に準備しております。

入院をしてもご家族のペットとふれ合えることができ、リハビリへの意欲も向上します。

是非ご利用ください

## 医療連携会



**済生会中央病院症例報告会**

平成31年1月29日(火)当院2階リハビリテーション室にて、済生会中央病院との症例報告会及び意見交換会が行われました。両院の医師、看護師、セラピスト、ソーシャルワーカーなど合計70名が参加し、大変賑やかな会となりました。

症例検討会では被殻出血と腰椎圧迫骨折の2症例の発表が行われ、済生会中央病院の高木院長よりお言葉を頂きました。その後は懇親会も行われ、とても充実した時間となりました。今後も連携先の皆様を当院にお招きして、このような交流の場を大切にしていきたいと思えます。



## 専門性の高い看護実践者

開院から勤務させていただいており、一昨年に認知症看護認定看護師の資格を習得しました。認知症になると自分の思いを伝えにくくなっていきます。自分の意思とは違った方向に物事が進んでしまうことも少なくないと思えます。そのような方が自分の望むこと、したいことを尊重できる本人中心の環境をつくっていききたいと考えています。

リハビリで機能回復を目指し、住み慣れた場所へ安心して戻っていけるように患者さん本人はもちろん、ご家族様のサポートにも力を入れていきたいと思えます。

認知症看護認定看護師 中野 麻由美



# 歯科コラム

## 「がんばって歯をみがきましょう」

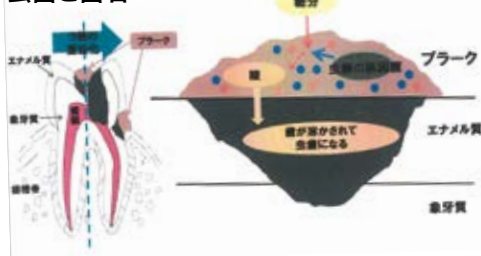


歯垢は台所のぬめり汚れのような状態で歯に付着しているため、歯ブラシを使わなければ取り除くことができません。歯みがきが不十分で残ってしまった歯垢が、唾液の中のカルシウムなどと結合して硬くなってしまったものが歯石です。歯石は歯ブラシでは取り除くことはできず、歯科医院で取ってもらわなくてはなりません。

歯垢の中にいる虫歯の原因菌が糖分を栄養にするときにできる酸が歯を溶かしてしまい、虫歯ができます。歯周病は、歯を支える歯肉や歯根膜、歯槽骨に炎症が生じる病気です。歯垢や歯石が歯と歯肉の境目に残ると、歯周病の原因菌が作る毒素によって歯肉が腫れたり、歯と歯肉の間に歯周ポケットという隙間ができてしまいます。歯肉だけの炎症（歯肉炎）であれば歯垢の除去で健康な歯肉に回復できますが、細菌が歯周ポケットの奥深くに繁殖していくと歯を支える歯根膜や歯槽骨が炎症で破壊されてしまい（歯周炎）、歯垢や歯石を除去しても健康な状態に回復できず、歯がぐらつき、ひどくなると歯を抜かなくてはなりません。

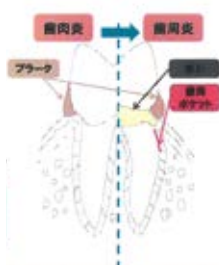
歯を失う原因で最も多いのが歯周病です。歯を失わないようにするためには、毎日の歯みがきで虫歯や歯周病を予防、定期的な検診が重要です。

### 虫歯と歯石



### 歯周病と歯垢・歯石

<b>歯肉炎</b>	歯面にプラーク（歯垢）が形成されて生じる歯肉に局限した炎症
プラークの除去で回復可能	
↓	
<b>歯周炎</b>	歯根膜・歯槽骨の破壊を伴う
プラーク・歯垢の除去で歯肉の炎症は治まるが、歯根膜・歯槽骨の回復不可能	



## ホームページのご案内

病院の詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。グループ病院ホームページにもリンクできます。

原宿リハビリテーション病院

検索

<http://harajuku-reha.com/>



一般社団法人 巨樹の会 原宿リハビリテーション病院 広報誌

# 原宿タイムズ Vol.14

HARAJUKUTIMES

令和元年5月発行



一般社団法人 巨樹の会

**原宿リハビリテーション病院**  
広報委員会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-26-1  
TEL 03-3486-8333/FAX 03-3486-8334



■原宿駅 表参道口（JR山手線）より徒歩8分  
■明治神宮前（原宿）駅 7番出口（東京メトロ副都心線）より徒歩5分